

2018年度(10月~3月)

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系統運用容量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

対象エリア：九州エリア 本土
2018年度実績

[2019年4月1日現在]

初めと実施
(7時間)

10月中 4回(土・日のみ)

通し番号		1		2		3		4	
出力制御内容	発信日	10/12(金)16時頃 (前日指示)	10/13(土)9時頃 (当日見直し) ^(注6)	10/13(土)16時頃 (前日指示)	10/14(日)9時頃 (当日見直し) ^(注6)	10/19(金)16時頃 (前日指示)	10/20(土)9時頃 (当日見直し) ^(注6)	10/20(土)16時頃 (前日指示)	10/21(日)9時頃 (当日見直し) ^(注6)
	再エネ出力制御期間	10/13(土) 9時00分~16時00分		10/14(日) 9時00分~16時00分		10/20(土) 9時00分~16時00分		10/21(日) 9時00分~16時00分	
	最大余剰電力発生時刻	12時00分 ∩ 12時30分		11時00分 ∩ 11時30分		12時00分 ∩ 12時30分		12時00分 ∩ 12時30分	
	再エネ出力制御量	43	43	62	71	70	70	118	118
	[再エネ接続量に対する比率] ^(注1)	[7%]	[7%]	[11%]	[12%]	[12%]	[12%]	[19%]	[19%]
予想需給状況	エリア需要 ^(注2) ①	828	828	758	736	806	806	728	728
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注3) ②	226	226	226	226	226	226	226	226
	域外送電 ^(注4) ③	196	196	196	196	196	196	196	196
	小計	1,250	1,250	1,180	1,158	1,228	1,228	1,150	1,150
	供給力 ^(注5) ④	1,293	1,293	1,242	1,229	1,298	1,298	1,268	1,268
	(再掲)再エネ出力	(595)	(595)	(555)	(542)	(610)	(610)	(590)	(590)
再エネ出力制御必要量 (⑤=①+②+③-④) ⑤	43	43	62	71	70	70	118	118	

(注1)最新の再エネ(太陽光・風力)設備量に基づき都度算定

(参考)2月末設備量 895万kW(太陽光:844万kW、風力:51万kW)

(注2)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要

(注3)揚水発電所を最大限活用

(注4)開門連系統を最大限活用し、域外へ送電

(注5)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制

(注6)最新(当日5時)の気象データに基づきエリア需要と再エネ出力を見直し

(注)再エネ出力制御量の増減については、需給状況を踏まえ遠隔制御が可能な事業者にて対応